

第 30 期 決 算 公 告

2026年6月18日

愛知県知多郡南知多町師崎明神山8番地

名鉄海上観光船株式会社

代表取締役 宇野 敦己

貸 借 対 照 表

2026年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	175,279,720	流動負債	155,314,593
現金及び預金	50,604,890	買掛金	682,067
未収運賃	38,443,560	未払金	47,079,811
未収入金	17,579,567	未払費用	17,432,248
短期貸付金	55,879,876	未払法人税等	1,572,700
貯蔵品	10,529,443	契約負債	7,977,304
商品	8,950	預り金	7,649,909
前払費用	1,979,784	預り保証金	13,500
その他	253,650	賞与引当金	21,834,000
		その他	51,073,054
固定資産	433,457,405	固定負債	1,400,000
有形固定資産	391,439,089	その他固定負債	1,400,000
船舶	281,235,434		
車両運搬具	1,892,410	負債合計	156,714,593
建物	15,753,127		
構築物	65,270,935		
機械装置	1,621,033		
工具器具備品	23,596,241	(純資産の部)	
土地	2,069,909	株主資本	452,022,532
		資本金	100,000,000
無形固定資産	13,370,141	資本剰余金	100,000,000
ソフトウェア	11,868,000	資本準備金	1,000,000
電話加入権	1,502,141	その他資本剰余金	99,000,000
		利益剰余金	252,022,532
投資等	28,648,175	利益準備金	7,622,200
投資有価証券	7,558,095	繰越利益剰余金	244,400,332
出資金	1,500,000		
その他	13,439,210		
繰延税金資産	6,150,870	純資産合計	452,022,532
資産合計	608,737,125	負債・純資産合計	608,737,125

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係わる事項に関する注記

(1) 棚卸資産ならびに有価証券の評価基準及び評価方法

商品、原材料、貯蔵品	-----	最終仕入原価法による原価法 (収益性の低下に基づく簿価 切下げの方法により算定)
有価証券	-----	総平均法に基づく原価法

(2) 有形固定資産の減価償却方法

船舶、建物(1998. 4. 1以後取得の物)、 建物附属設備、構築物(2016. 4. 1以後取得の物)	-----	定額法
その他の有形固定資産	-----	定率法

(3) 引当金の計上方法

賞与引当金	-----	従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額基準により算出した額を計上しております。
貸倒引当金	-----	売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により計算された額相当額を計上しております。今期はありません。 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

運航収益	-----	主に旅客運送サービスから得られる収益であり、輸送役務が完了した時点で、収益を認識しております。 定期券・回数券は有効期間にわたって履行義務が充足されるため、有効開始月から終了月までの期間の経過に伴い収益を認識しております。
事業収益	-----	主に商品販売から得られる収益であり、商品を引き渡した時点で、顧客が商品に対する支配を獲得して履行義務が充足されると判断し、収益を顧客から受け取る対価の総額で認識しております。

2. 会計上の見積りの変更

船舶の耐用年数の変更

当社が保有する船舶について、従来は法定耐用年数を採用しておりましたが、当事業年度より実態に合わせた経済的耐用年数(20年)に変更しております。

これは、近年の造船価格の急騰に伴う資産価値の変化を勘案し、保有船舶の利用実態や売却査定を精査した結果、従来の耐用年数より20年とする方が資産の実態をより適切に反映すると判断したためであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当事業年度の減価償却費が48,551千円減少し、営業利益、経常利益および税引前当期純利益はそれぞれ48,551千円増加しております。

3. 当期純損益金額

当期純利益	39,628,813円
-------	-------------